

九条だより 第202号

北広島九条の会 2024・10・01 発行
事務局 梁川彰博 (ヤガワ アキヒロ)
TEL・FAX 375-9600
メール kitahiro-9jounokai@live.jp
ホームページ www.kitahiro9.org

北広島九条の会第18回総会のお知らせ

- ・10月5日(土) 午後2時~4時
- ・芸術文化ホール 2階 活動室
- ・資料代 200円 (高校生以下無料)

<記念講演>

『家族の被爆を陶芸で訴えて』

お話 福山 桂子さん 医師 陶芸家

記念講演の時間は、1時間半を予定しています。福山さんの陶芸作品はパネルによる展示となります。予めご承知おきください。お話が終わり次第、第18回総会を行います。

☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆

8月14日、岸田首相が突然の「退陣表明」。
政権投げ出しは「アベ、スガ」政権と同じ、「ケジメをつける」といいますが、「ウラ金」は終わったのでしょうか。「表紙」替えによる幕引きは許されません。国民の怒りが追い詰めました。もう自民公明政治は終わりです。新しい政治への転換を、市民と野党の共同で目指しましょう。

10月1日臨時国会召集、この秋にも総選挙が行われる可能性大です。

☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆ ☆☆☆☆

子どもたちを救え！イスラエル軍はガザ

侵攻・ジェノサイドを止めよ！

◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇ ◇◇◇◇

9月8日「戦争遺跡巡りバスツアー」で近郊3町を訪問

＜長沼町＞ 二つの野呂栄太郎記念碑

＜由仁町＞ 旧日本陸軍演習での天皇の「聖蹟記念碑」

＜栗山町＞ 強制連行された「中国人殉難者の碑」

今年で12回目を迎えた「戦争遺跡巡り」は近郊3町の遺跡を訪問しました。この日は晴天に恵まれ、暑さを心配しましたが幸いにも風がありそれほどのことはありませんでした。参加した市民は28名、最高齢の方は87歳で最後までお元気に歩かれました。福祉バス案内役は、事務局の増田さん、説明役は後藤さんが務めました。

最初に向かったのは、当市と目と鼻の先、長沼町の野呂栄太郎記念碑です。馬追運河沿いを走り、程なく「記念碑の小公園」です。そして野呂の出身の長沼中央小学校にある「野呂栄太郎学童の碑」を見学しました。野呂栄太郎は、長沼町生まれ、小学校3年生の時に関節炎が悪化、膝下を切断するも北海中学、慶応大学とすすみ、学業優秀で経済学を研究しながら、反戦平和と社会変革に身を投じていきました。1932（昭和7）年には『日本資本主義発達史講座』を刊行し、また日本共産党に入党します。厳しい弾圧のなか、肺結核の身体をおして活動しますが、1933年検挙され警察の拷問による病状悪化で、翌年2月死去しました。長沼町はこうした野呂の業績を讃え、誕生日の4月30日に碑前祭を行っています。

由仁町の「聖蹟記念碑」は伏見台という小高い丘の上。少し歩きました。1936（昭和11）年10月の陸軍特別大演習で天皇が立ち寄った場所に建てられました。翌年に日中戦争がはじまり、この陸軍大演習が最後となりました。2万人の将兵が南北両軍に分かれての大演習で、天皇は10月3日由仁村（当時）、5日に恵庭村（当時）でその模様を視察したものです。碑は戦前に建立され、「聖蹟」の文字は時の広田弘毅首相の揮毫によるもので、建立の費用は当時の小学校の教員や子どもたちの寄付によるものでした。

栗山町では、アジア太平洋戦争中に、占領地中国から強制連行された中国人の「殉難者の碑」を訪れました。1944年に294人の中国人が連行され、旧北炭の角田炭鉱で働かされました。過酷な坑内労働と劣悪な食事による栄養失調で、98人（33%）が逃亡して殺されたり、亡くなったりしました。1972年から栗山町や社会福祉協議会、日中友好協会関係者などにより追悼の慰霊祭が執り行われてきました。実に50年以上にわたってこの行事が続けられていることになります。当会はこの日、花束を手向け皆さんで黙とうを捧げました。なお、説明役の後藤さんが、この日に花束を手向けて黙とうを行った旨を栗山町社会福祉協議会へお話したところ、町側から「有難うございます」との返事をいただいたとのことです。（同行事務局）